

夢洲のまちづくり方向性と想定スケジュール、都市計画変更の概要 ～国際観光拠点の形成に向けて～

夢洲まちづくり基本方針(令和元年12月策定)

【第1期(70ha)】 統合型リゾート(IR)を中心としたまちづくり

魅力的なエンターテインメントの集積、国際競争力を有するMICE施設の整備やICT等最先端技術を活用したスマートなまちづくりによる国際観光拠点を形成する。

《導入施設》 ■国際会議場および展示施設 ■魅力増進施設 ■送客施設 ■宿泊施設 等

【第2期(60ha)】 万博の理念を継承したまちづくり

大規模なエンターテインメント・レクリエーション機能や万博の理念、最先端の取り組み及び第1期において創出されたにぎわいを継承したまちづくりを進めることで、第1期のまちづくりと合わせて国際観光拠点機能の更なる強化を図る。

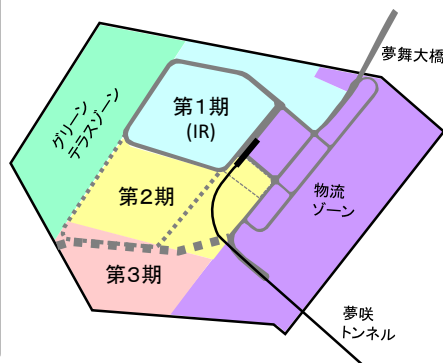
《導入機能例》 ■大規模エンタメ・レクリエーション機能 ■宿泊機能
■最先端技術・研究などの実験・実証、情報発信機能 等

【第3期(40ha)】

第1・2期の取り組みを活かした長期滞在型のまちづくり

第1・2期で創出・醸成されたエンターテインメントや最先端技術等により、健康や長寿につながる長期滞在型の上質なリゾート空間を形成する。

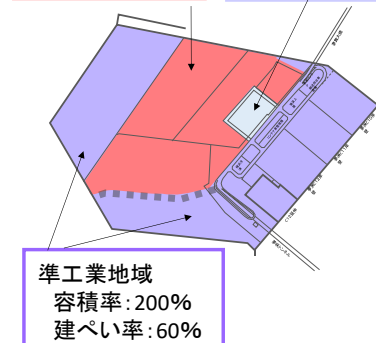
《導入機能例》
■第1期及び第2期に導入される機能(エンターテインメント、産業・ビジネスなど)の拡充
■長期滞在型リゾート機能 ■ウェルネスツーリズム 等



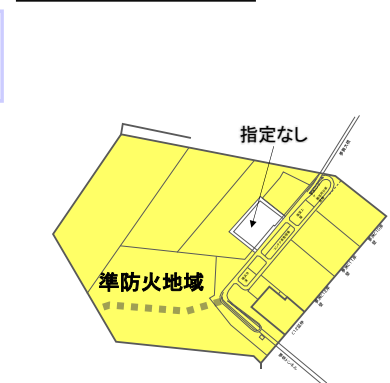
都市計画変更(令和元年9月)

用途地域

- 商業地域 容積率:400% 建ぺい率:80%
- 工業地域 容積率:300% 建ぺい率:60%
- 準工業地域 容積率:200% 建ぺい率:60%

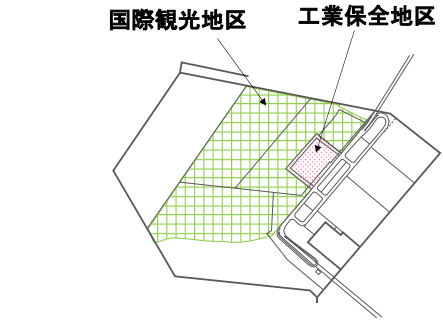


防火・準防火地域



特別用途地区

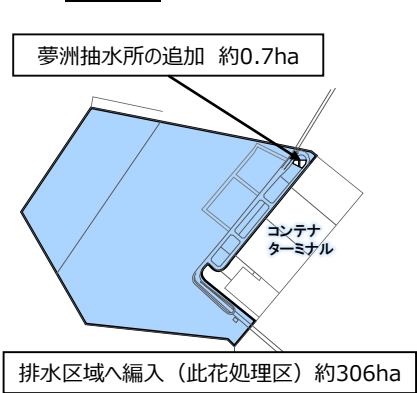
【国際観光地区で規制する用途】
幼稚園、小中高校、性風俗営業の施設等



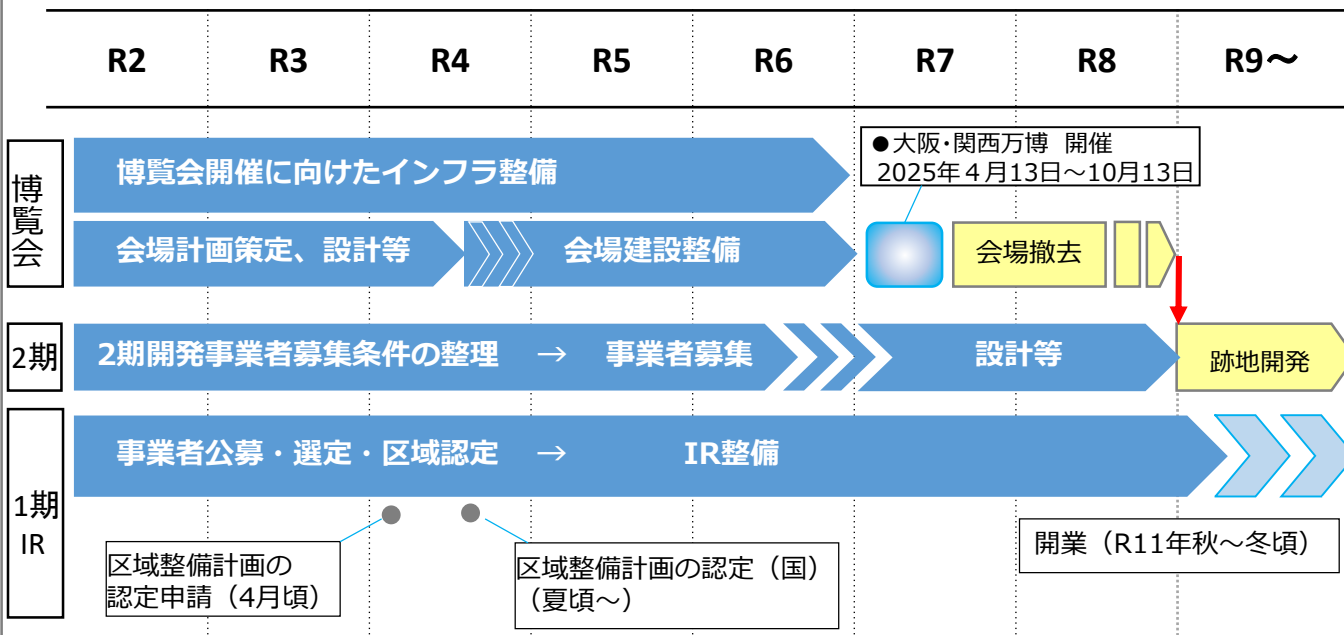
都市計画道路



下水道



想定スケジュール(年度)



臨海部のアクセス強化

※夢洲の段階的な土地利用の状況に応じた鉄道整備を検討



- JR桜島線延伸ルート(夢洲~桜島)【案】
 - 中之島線延伸ルート(夢洲~新桜島~中之島)【現計画】
 - 地下鉄中央線延伸ルート(夢洲~コスモスクエア)【現計画】
- 既設鉄道(JR・地下鉄等)



敷地 B (約10ha)

夢舞大橋

至舞洲

**IR予定区域
敷地 A**
約39ha

**拡張
予定地**
(約9ha)

夢洲コンテナ
ターミナル

夢洲第2期
約60ha

夢洲第3期
約40ha

夢咲トンネル

2025年日本国際博覧会会場
(約155ha)

咲洲